

【大学間協定留学】留学近況報告書

記入日	2025年 11月 4日
留学先大学/国名	ザルツブルグ大学(日本語名) 国名:オーストリア Pris Ldon Universität Salzburg(現地言語名)
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input checked="" type="checkbox"/> その他:
留学期間	2025年9月～2026年2月
明治大学の所属学部等 ※学部・学科・研究科・専攻等	文学部文学科文芸メディア専攻
学年 ※出発時の本学での学年	3年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

主に過去の留学報告書を参考に情報を集めましたが、わからないことや不安なことがある場合は、インターネットで調べるよりも、公式サイトを確認したり、大使館や大学、保険会社などに直接メールで問い合わせる方が確実で安心でした。また、必要になりそうな書類(パスポートのコピー、入学許可書、成績証明書など)は、異なる手続きで何度も使用することがあるため、あらかじめデータでまとめておくとすぐに提出できて便利です。

II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類: Dビザ	申請先: ビザ申請センター
ビザ取得所要日数: 3～4 週間 (申請してから何日 / 何週間要したか)	ビザ取得費用:
1. ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか? また、どのように手配しましたか?	
ビザ申請書(Dビザ用)、パスポート、パスポートコピー、入学許可証等、在学証明書、預金口座明細(通帳原本と、最新の記入がされた通帳コピー)、航空券予約確認書、宿泊予約確認書、保険加入証明書(COVID-19に関する記述がされたもの、明大サポートに電話して明治大学で加入した保険に加筆してもらいました)、旅行日程表、カバーレター(私は申請時点で住居が決まっておらず、宿泊予約確認書がそろっていない状態でしたが、カバーレターと一緒に提出させてもらい、対応していただきました。)	
2. 具体的な申し込み手順を教えて下さい。	
以上の書類を揃えて申請センターに行き提出します。申請センターの方からオーストリア大使館へ提出され、承認されたらパスポートをとりに行くか自宅に郵送されます。	
3. ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか?	
特にありませんでした。	
4. ビザ取得に関して困った点・注意点	
住居が出発直前まで決まらなかったこともあり、滞在先証明などの書類に不備が多い状態でした。しかし、大使館の担当の方が出発直前まで丁寧にメールで対応してくださり、最終的には出発の三日前に無事ビザを取得することができました。もちろん、時間に余裕をもって必要書類を準備し、早めに申請するのが理想ですが、万が一不備が見つかった場合でも、大使館にメールで相談したり、カバーレターを添えたりすることで、柔軟に対応してもらえる場合があります。	

II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送等)。

現在はほとんどの支払いがカードで可能ですが、ザルツブルクでは大きなお祭りの時や屋台など、現金のみ対応の場合も少なくありません。また、アジアスーパーでは「10ユーロ以上でカード利用可」というように、少額では現金が必要な場合もありました。現金は多めに持つておくと安心です。

III. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	オーストリア航空			
航空券手配方法	ANA ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入			
大学最寄空港名	ザルツブルク空港 (到着した のはウィーン国際空港)	現地到着時刻	18:00頃	
キャンパスへの 移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配 の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の 出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> 電車)	<input checked="" type="checkbox"/> タクシー () <input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	飛行機: 14 時間ほど 空港からホテルまで: タクシーで 15 分ほど ウィーンからザルツブルクまで: 電車で 3 時間			
空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等 タクシーは Uber を登録しておくのがいいと思います。				
大学到着日	9月16日 16時頃			

2. 住居について

到着後すぐに住居 入居できましたか?	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方: _____ 月 _____ 日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他()	
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> その他(ホームステイに近い形での滞在でした)	
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input checked="" type="checkbox"/> その他(大家さんと息子さん)	
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input checked="" type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他(大学のホームページに載っているサイトから)	
住居の申込み手順	希望する住居にいくつかメールで申し込みを送りましたが、返信があったのは現在の大家さんからのみでした。メールのやり取りでは、滞在先のルールや雰囲気、大家さんご家族の生活について説明を受け、私自身の簡単な自己紹介や写真も送りました。その後、契約書を交わして正式に入居が決まりました。	

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？

渡航前に現在の住居が決まりましたが、私の場合は留学先の大学が出発の約 1 か月前に変更になったこともあって、学生寮はすでに満室でした。アパートを探す際は、現在の滞在先以外にも 10 件以上の物件にメールを送りましたが、返信があったのはこの 1 件のみでした。

家賃の高さ、立地の遠さ、家具の有無、年齢や国籍による入居制限など、条件がさまざまなので、できるだけ早めに探し始めることをおすすめします。寮に滞在できている友人たちは、日本人・ヨーロッパの学生を問わず、昨年の 12 月から 1 月の間にすでに申し込みをしていたそうです。

3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかつた
日程	学期開始一週間前
参加必須ですか？	<input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input checked="" type="checkbox"/> 有料(金額: Pub など、イベントの種類によっては有料)
内容と様子は？	一週間でかなりたくさんのアクティビティがありました。Pub や Club に連れて行ってくれるイベントや、Scavenger Hunt、ホーエンザルツブルク城に無料で入場させてもらえるツアー、ハイキングなどのイベントもありました。人気だと人数制限されるものもあるので、参加したい場合は早めに確認して申し込んでおくことをお勧めします。
留学生用 特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかつた
授業開始日	10月6日から

IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？ いつ、どこで、方法は？ 日数、料金は？ トラブルは？

一学期のみの留学の場合は、滞在許可の申請は不要です。ただし、全員が到着後三日以内に「Meldzettel(居住登録)」を提出する必要があります。私は少し期限を過ぎてしましましたが、窓口では特に到着日などを聞かれることもなく、問題なく受理されました。

申請には大家さんのサインが必要です。私の場合、大家さんがあらかじめ窓口の予約を取ってくださっていたので、待ち時間はありませんでしたが、混雑はしていなかったので予約なしでも対応してもらえると思います。

2025年8月から登録料が42ユーロに値上げされていました。。。

2. その他現地でした手手続き(健康診断、予防接種等)？ いつ、どこで、方法、日数、料金は？ トラブルは？

手続きというほどではありませんが、日本から送ってもらった荷物を受け取るときに、税関で止められてしまって少し大変でした。原因は、荷物に入っていたリストに「Used(中古)」と書き忘れてしまい、すべて新品として扱われたことでした。領収書の提出を求められましたが、持っていないかったので、自分で「Used」と書き加えたリストを作り直して、妥当な金額を設定して提出したところ、すぐに通りました。

ただ、この書類不備についての手紙が届いたのは荷物を受け取った後で、メールも送られてこないため、自分で確認しないと気づけませんでした。実際、気づかないうちに荷物が日本に返送されてしまった友人もいます。

そのため、荷物を送るときは、Austrian Post のアカウントをあらかじめ作っておき、サイトで配送状況をこまめに確認するのがおすすめです。

3. 現地で銀行口座を開設しましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？ トラブルは？

私は半年なので開設しませんでした

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？ トラブルは？

してないです。ただeSIMだと、SMS認証する場面が意外とたくさんあって不便なので、電話番号のあるSIMの方がいいかもしれません。

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(月 日頃)
オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()

到着後に(月 日頃)
オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留学生として優先されることはありましたか？

あった なかつた

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかつた」方はどのように登録しましたか？

大学のポータルサイトから自分で希望する科目を選び、オンラインで登録を行いました。科目によっては登録期間が早く終了してしまう場合もあるため、できるだけ早めに登録することをおすすめします。

なお、担当教授によっては、登録期間を過ぎていてもメールで連絡すれば追加登録を認めてもらえることがあります。私はそれで一つ希望の授業を登録してもらいました。逆に早くに申請をしていても人気の授業だと waiting list に追加されるだけで、登録してもらえないこともあります。

2. 出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入

	月	火	水	木	金	土	日
5: 00							
6: 00			起床				
7: 00							
8: 00	起床	起床			旅行等	旅行等	旅行等
9: 00			ドイツ語				
10: 00			→				
11: 00	ドイツ語	ドイツ語	昼食・自習	ドイツ語			
12: 00	→	→		→			
13: 00		昼食・自習	American Photography				
14: 00			→				
15: 00	買い物出し、自 習など	19th century Britain	自習	自由			
16: 00		→					
17: 00		Austria History	Anglophone Culture				
18: 00		→	→				
19: 00		帰宅・夕食	帰宅・夕食				
20: 00	シャワー	シャワー	シャワー				
21: 00							
22: 00	消灯	→	→	→			
23: 00	自習など	→	→	→			
24: 00							

VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般について等、自由に書いてください。

出発前から今まで一番強く感じているのは、「大変でもとりあえず何とかなる」ということです。

私は高校生の頃にも 1 年間の交換留学が決まっていましたが、コロナ禍でホストファミリーや学校、出発日まで全て決まっていた予定が中止になりました。今回の留学はそのリベンジのつもりで準備を進めていましたが、アメリカのビザ発給が停止され、出発の 1 か月前に「留学をやめるか、延期するか、行き先を変えるか」を選ばなければならなくなりました。毎日ビザ申請のページを更新しても何も変わらず、不安でいっぱいでした。

そんな中で、国際事務室の方から「ザルツブルク大学に変更できる」と聞き、もともと行ってみたかった場所だったこともあり、希望が見えました。とはいって、その後の準備もスムーズとは言えず、家もなかなか決まらず、ビザ申請もぎりぎりで(これは完全に自分の準備不足ですが)、出発直前まで不安でした。英語もドイツ語も自信がなく、知らない土地で一人で生活できるのかも心配でした。

でも、ザルツブルクに着いた瞬間にそれらの不安はほとんど消えました。景色がとてもきれいで、空気も落ち着いていて、治安も良く安心して生活できます。アパートは市の中心から少し離れていますが、とてもきれいで静かです。大家さんがとても親切で、最初の週は私の分の食事も用意してくれたり、週末にハルシュタットヘドライブに連れて行ってくれたりしました。ご友人の私と同年代の娘さんや、同じ建物に住んでいる大学生の女の子も紹介してもらい、すぐに友達ができました。到着直後には「Rupertkirtag」という伝統的なお祭りがあり、友人が伝統衣装を貸してくれて一緒に参加することもできました。

授業や課題は大変ですが、毎日穏やかに過ごせています。料理は苦手ではないけど好きでもないので、火曜と水曜の授業が長い日は月曜にカレーやシチュー、肉じゃがなどを作り置きするなどなるべく楽できるようにしています。アジアスーパーで日本の調味料も買えますし、SPAR というスーパーで日本の米に近いお米が安く手に入るので、和食も普通に作れてホームシックになる事もありません。目の前にあるアルプスの山から水を引いているので、水道や街中の給水スポットの水も安心して飲めます。さらに、ザルツブルクはトイレなどの公共施設も比較的にきれいで、本当に生活しやすい街です。今は秋なって気温もちょうどよく、紅葉がきれいなので、天気が良い日は川沿いや屋上でご飯を食べたり、勉強をしたりしています。

不安なことがあっても、結局は何とかなります。挑戦してみたら案外大丈夫というのを実感しました。

もともと日本が好きで、日本で働くことだけを考えていましたが、ここに来てからは「将来のことをもっとゆっくり考えてもいいかもしれない」「いつかここに住んでみたい」と思うようになりました。大きな変化や成長はまだありませんが、視野が少し広げられただけで、すでに大きな価値があったなと思います。